

- 1 趣 旨 昨今の報道等で「ヤングケアラー」への理解は徐々に高まってきていますが、本人自身にヤングケアラーという自覚がない場合も多く、子どもらしい生活が送れず誰にも相談できない状況がうかがえます。一方で、家庭内の役割として子どもが家族をケアすることで家族の絆が深まり、思いやりや責任感が育まれるといった理解もありますが、過度な負担が続くことで、子どもの心身の成長に影響がでる恐れがあります。  
本研修では、県内ヤングケアラー支援の事例を元に作成した仮想事例を用いて、ヤングケアラー当事者の思いを想像し、支援者の連携について考えるために開催します。
- 2 主 催 社会福祉法人長野県社会福祉協議会（長野県委託事業）
- 3 共 催 社会福祉法人岡谷市社会福祉協議会  
（予定）
- 4 期 日 令和6年（2024年）3月4日（月）13時00分～16時00分
- 5 会 場 岡谷市カルチャーセンター 多目的ホール（岡谷市中央町1-11-1 イルフプラザ3階）
- 6 参加対象 （1）教育関係者、学校関係者、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー 等  
（2）福祉関係者、児童相談所、福祉事務所、市町村職員、市町村社協職員 等  
（3）地域包括支援センター、障がい者支援センター、まいさぼ職員 等  
（4）民生委員児童委員、主任児童委員、子ども食堂関係者 等  
（5）ヤングケアラー支援に関心がある人
- 7 参加費 無料
- 8 定 員 50名
- 9 日 程

時 間	内 容
12:30～13:00	受付
13:00～13:10	◆開会・趣旨説明
13:10～13:30	◆基礎説明「長野県におけるヤングケアラーの現況について」 長野県ヤングケアラーコーディネーター
13:30～14:00	◆取組紹介 川西 ケンジ 氏（株式会社 PUTZ Network代表取締役社長／通訳者） ブラジル国籍・三世ハーフ。2000年頃、父と義母と共に嫁ぎとして日本語が全く分からない状態で来日し、派遣社員、アルバイト・パート、正社員、団体職員・役員等の様々な経験をしながら日本で生活。現在は、多言語サポート支援サービスで多文化共生を実現する会社「(株)PUTZ Network (プツ・ネットワーク)」を設立し、代表取締役社長を務められています。

	<p>弓田 香織 氏（長野県教育委員会事務局 南信教育事務所スクールソーシャルワーカースーパーアドバイザー）</p> <p>長野県が2008年に初めてスクールソーシャルワーカーを任用した時から、県内の小中高養護学校にて子どもの相談にあたっている社会福祉士。ヤングケアラーの早期発見に重要な役割を果たすことができる『学校』で、教職員の感度を高める取組みと多機関連携による支援を模索中。高校時代は、アメリカ合衆国ニューヨーク州のユダヤ人街にある現地校で、30カ国から集まった生徒たちと共に学ばれています。</p>
14:00～14:10	休憩
14:10～15:50	<p>◆事例学習 事例の登場人物になりきり、その人の立場に立って考える事例学習をグループに分かれて行います。</p> <p>テーマ「外国籍のヤングケアラー支援を考える」</p> <p>○アドバイザー 川西 ケンジ 氏（同上） 弓田 香織 氏（同上）</p>
15:50～16:00	<p>◆検討結果の共有 ◆まとめ</p>
16:00	閉会

- 10 参加申込 下記 URL から Google フォームにて2月26日（月）までにお申込みください。  
URL : <https://forms.gle/pyUyrJXdkAUGokNRA>



ホームページ

Google フォーム

- 11 問合せ先 社会福祉法人長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ  
電話：026-228-4244 ファックス：026-228-0130  
E-mail:kikaku@nsyakyo.or.jp/HP <http://www.nsyakyo.or.jp>

- 12 その他 本研修を中止または延期する場合は、本会のホームページに掲載して通知します。また、本研修に係る個人情報、本会の「個人情報の保護に関する方針」に基づき適正に取り扱い、ほかの目的で使用することはありません。